

## Press Release

May 24, 2023 | ID:23-V015

# 電気自動車の小型 SUV「ボルボ EX30」 ボルボ史上最少のカーボンフットプリントを実現

本プレスリリースは、5月24日スウェーデン本社発の翻訳版です

「ボルボ EX30」は、ボルボ車の優れた点をすべて凝縮した、現代にふさわしい電気自動車の小型 SUV であり、安全性はもちろん、ボルボ史上最少のカーボンフットプリントを実現しています。

ボルボ EX30 は、その全ての製造過程とライフサイクルにわたる排出量削減に取り組むことで、20 万キロ走行におけるカーボンフットプリントの合計を 30 トン\*以下に削減しました。これは、電気自動車であるボルボ C40 と XC40 と比較して 25%の削減であり、2018 年から 2025 年の間に車両 1 台あたりの CO<sub>2</sub>排出量を 40%削減するという我々の目標に向けて物事が順調に進んでいることを示しています。

電気自動車であるボルボ EX30 は、テールパイプからの排出がゼロです。これは、CO<sub>2</sub>排出量を削減するだけでなく、空気をきれいにします。例えば、南カリフォルニア大学\*の最新の研究によると、ある地域で電気自動車が少し増えるだけで、喘息による救急外来の総数に直接的に好影響を与えることが明らかになっています。

しかし、自動車からのカーボンフットプリントを減らすためには、電動化だけでは十分ではありません。自動車は運転されるだけでなく、デザインされ、開発され、製造され、輸送されます。そして、すべての工程で温室効果ガスの排出量を削減することができます。

ボルボのグローバル・サステナビリティ部門の責任者であるアンダース・カーバークは、「新しい EX30 は、私たちのサステナビリティへの取り組みにおいて正しく、そして大きな一歩です。私たちは、2025 年までに、車両 1 台あたりの CO<sub>2</sub>排出量を 2018 年の水準から 40%削減することを目指しており、テールパイプからの排出量を 50%削減、製造販売、原材料調達、サプライチェーンからの排出量を 25%削減します。これらは全て、2040 年までにクライメート・ニュートラルな企業になるという野心的な目標に向けた取り組みの一環なのです」と述べています。

### リサイクル素材を随所に使用

ボルボ EX30 の CO<sub>2</sub>排出量を、現行モデルの電気自動車の 75%まで削減することができたのは、なぜでしょうか。まず、車をより小型化するという事は、製造するために必要な素材が少なくて済むということです。アルミニウムとスチールは、車の生産に関連する CO<sub>2</sub>排出量の最大要因であるため、この点において私たちは大きな違いを生み出すことが出来るのです。

さらに、新しい小型 SUV を製造する際に、スチールやアルミニウムの使用量を減らす一方で、リサイクル素材をより多く使用しています。ボルボ EX30 の製造に使用される全アルミニウムの約 25%、および全スチールの約 17%がリサイクル素材となっており、これらの素材による環境負荷をさらに軽減しています。

最もサステナブルな部品は”存在しない部品”である、というアプローチが車の内部でも貫かれています。ボルボ EX30 のデザイナーは、サステナブルなデザインの原則として最適化を追求することで、内部の複数の機能を 1 つの

コンポーネントにまとめることを可能にしました。これにより、機能性を損なうことなく、車内部に存在する部品点数を減らすことを実現しています。

ボルボ EX30 に使用されている素材も、よりサステナブルな新しい車づくりに貢献するものです。内装コンポーネントから外装バンパーに至るまで、車に使用されている全てのプラスチックの約 17%がリサイクル素材であり、ボルボ車の中で最も高い割合となっています。

### クライメート・ニュートラルへの新たな一歩

排出量削減のために重要なもう一つの領域は、クリーンエネルギーを利用した製造およびサプライチェーンです。ボルボ EX30 は、100%クライメート・ニュートラル電力を含む、高レベルなクライメート・ニュートラル エネルギーにより稼働する工場で製造される予定です。

サプライチェーンに関して、ボルボは EX30 のための主要サプライヤーと協力しており、その 95%が 2025 年までに製造において 100%再生可能エネルギーを使用することを約束し、多くのパートナーがすでに達成しています。自社の事業における排出量を削減するだけでなく、より幅広いサプライチェーンのパートナーにもそれを強く促していることは、私たちの高い目標に対する達成意欲を反映したものです。

ボルボ EX30 の製造プロセスは、さまざまな方法で効率化がされており、ボディパーツのプレス加工における素材の車両への利用率が、ボルボの中でも最も高い車のひとつになっています。

また、ボルボは素材のトレーサビリティという課題にも取り組み続けており、特に EX30 のバッテリーパックを製造する際には、リチウム、マンガン、コバルト、グラファイト、ニッケルなどの重要な原材料を追跡できるように、ブロックチェーン技術を導入しています。

### よりスマートでサステナブルな素材

シート、ダッシュボード、ドアには、デニム、亜麻、リサイクルポリエステルを約 70%含むウール混紡素材など、リサイクル素材や再生可能素材を数多く使用しています。特にデニムは、よりスマートでサステナブルに素材を使用する方法を示す代表的なものです。

デニムの車内インテリア装飾を作るために、私たちはデニムのリサイクル工程で廃棄物となるはずの繊維を使用しています。ジーンズがリサイクルされる時、細断された繊維は糸状に撚られ、長い繊維は互いに絡み合いますが、短い繊維は通常、廃棄物として処分されます。私たちは、この短い繊維を回収し、デニムのインテリア装飾に使用しています。

### 妥協なきダウンサイジング

EX30 は、いわゆる“クレイドル・トゥー・ゲイト”の CO<sub>2</sub> 排出量を約 18 トンと想定しています。“クレイドル・トゥー・ゲイト”とは、原材料の調達から完成した車が販売店に到着するまで、つまり車が使用開始されるまでの CO<sub>2</sub> 排出量を指しています。

EX30 は、そのライフサイクル終了後においても、素材をリサイクルし、またリサイクルできない部分からはエネルギーを回収することで、95%まで再利用できるように設計されています。

つまり、ボルボ EX30 は、安全性、快適性、利便性を犠牲にすることなく、お客様自身がダウンサイジングし、CO<sub>2</sub> 排出量を削減できる可能性を広げてくれるのです。これは、ドライバーにとって有益なことであり、環境へのダメージも少なくなります。

新しい小型 SUV 「ボルボ EX30」は 6 月 7 日に発表され、同日より、一部の地域で注文または予約受付を開始する予定です。

### 注記

- 20 万キロの走行で 30 トン以下というカーボンフットプリントの算出は、EU27 の電源構成から充電用電力を使用した場合に基づいています。

- これまでのボルボ車の中で最も低いカーボンフットプリントは、グローバルに販売されている車両での 20 万キロの走行に基づくものです。
- 電気自動車と大気環境の関連性に関するカリフォルニア州の研究についての詳細は以下をご参照ください。  
<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0048969723003765>
- 走行距離とエネルギー効率は、管理された条件下での新車の実際の WLTP 走行サイクルに従ったものです。実際の走行距離とは異なる場合があります。数値は事前に設定した目標に基づくものです。
- 車の仕様と実際のお客様への提供は、国によって異なる場合があります。詳しくは [volvocars.com](http://volvocars.com) をご覧ください。
- カーボンフットプリントとカーボン・トウ・ゲイトの CO<sub>2</sub> 値は、アセスメントに基づくものです。検証済みのライフサイクル分析書は、発売時に公開される予定です。

---

## 2022 年のボルボ・カーズ

2022 年通年で、ボルボ・カー・グループは 223 億 SEK の営業利益を計上しました。2022 年の売上高は 3,301 億 SEK、世界販売台数は 615,121 台に達しました。

## ボルボ・カー・グループについて

ボルボ・カーズは 1927 年に設立された高級自動車ブランドの一つであり、100 カ国以上のお客様に販売されています。ボルボ・カーズはナスダック・ストックホルム証券取引所に上場しており、「VOLCAR B」のティッカーで取引されています。

ボルボ・カーズは、お客様にパーソナルで持続可能かつ安全な方法で、「Freedom to Move (移動する自由)」を提供することを目指しています。これは、2030 年までに完全な電気自動車メーカーになるという目標と、2040 年までにクライメート・ニュートラルな企業になるという目標のもと、二酸化炭素排出量を継続的に削減するというコミットメントに反映されています。

2022 年 12 月現在、ボルボ・カーズの正社員は約 43,200 人です。ボルボ・カーズの本社、製品開発、マーケティング、管理部門は、主にスウェーデンのイエーテボリにあります。生産工場は、イエーテボリ、ゲント(ベルギー)、サウスカロライナ(米国)、成都、大慶、台州(中国)に所在しています。また、イエーテボリ、カマリオ(米国)、上海(中国)に研究開発及びデザインセンターがあります。

報道関係お問合せ先

ボルボ・カー・ジャパン 広報

[vcjpr@volvocars.com](mailto:vcjpr@volvocars.com)

## Related Images



[More Images >](#)

## Related Videos



[More Videos>](#)